

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション

未来潮流を創る企業グループとして、物流・商事事業を核に、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献する

営業収益
9,100億円

営業利益
400億円

営業利益率
4.4%

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の拡大と深化

物流事業での成長領域拡充、冷凍冷蔵物流拡大、グローバルネットワーク確立、商事事業での新商材・海外事業拡大

3. ESG+H経営への取り組み

2050年カーボンニュートラル向けCO2削減、ダイバーシティ&インクルージョン教育、コンプライアンス徹底

2. 成長事業の創出と育成

ライフサポート事業の収益性向上、ビジネスサポート事業の拡大、ものづくり事業の育成・強化

4. グループ経営の高度化

資本コスト・株価を意識した経営、デジタル技術活用、ITセキュリティ強化、先端技術の研究開発

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・地政学的リスク、エネルギー価格変動への対応
- ・物価上昇による消費者マインド下振れへの対策

② 物流業界の構造的課題

- ・2024年問題や少子高齢化による人手不足解決
- ・国内市場縮小への対応

③ DX・技術活用の推進

- ・AIロボットなど先端技術によるDX推進
- ・省力化・省人化に向けた技術開発

面接で使えるポイント

- ・『Moving Global』スローガンの下、物流を超える高品質サービス提供で世界を動かすビジョン
- ・2025年度営業収益9,100億円達成に向け、既存事業深化と成長事業創出に同時並行で取り組む
- ・2050年カーボンニュートラル実現とダイバーシティ推進で、ESG+H経営を通じた持続可能な社会実現を目指す

証券コード 9069

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

陸運業を中心とした総合物流システム企業

主力事業・セグメント

- ・ Distribution 63.9%
- ・ 商社・Commerce 21.5%
- ・ LifeSupport 7.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高8,996億円の事業規模
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
8,996億円営業利益率
4.1%財務健康度
27点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
816万円

陸運業内 12位/57社

平均年齢
43.9歳

陸運業内 29位/57社

平均勤続
11.0年

陸運業内 51位/57社

女性管理職
3.8%

陸運業内 34位/46社

男性育休
100.0%

陸運業内 9位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: センコーグループホールディングス[9069]: 取締役等に対する

